樹木園における病害虫防除記録

松本広樹

はじめに

樹木園において多発生した病害虫の薬剤散布による防除について報告する。

薬剤散布記録

薬剤散布は延べ８回行った。

薬剤の選択に当たって留意したことは、効能のほか、即効性及び残効性である。

(1)コブシハバチの幼虫（モクレン・コブシ）

本園では、毎年モクレン属の樹木に大発生し、数日で葉を食べ尽くす要注意害虫である。

しかし、農薬に弱く、薬剤散布により完全に防除できた。

(2)ウメシロカイガラムシ（サトザクラ類・ウメ）

昨年度に引き続き大発生し、新梢の生長阻害や枝の枯れこみが目立つようになったため、夏期、特に幼虫の発生時期に集中的に防除した。

薬剤は、スプラサイド乳剤を中心に、トモノールS及びアプロード水和剤を散布し、一部、薬効を高めるために展着剤としてアプローチBIを加えた。

その結果、カイガラムシの付着がほとんど見られないほど防除出来た。

(3)ツゲノメイガ（クサツゲ）

薬剤散布で完全に防除できた。

(4)ハダニ類（アジサイ）

昨年度、薬剤散布で防除出来ないほど多発したため、今年度は、発生初期に防除した。

降雨が適度にあったこともあり、発生がおさまった。

表　薬剤散布記録

病害虫名	樹種	実施日	薬　剤	希釈倍率	散布量	備考
コブシハバチ幼虫	モクレン・コブシ	５月16日	カルホス乳剤	1,000倍	100Ｌ／20本	直営
ウメシロカイガラムシ	サトザクラ類・ウメ	６月１日	スプラサイド乳剤	1,000倍	200Ｌ／150本	業者委託
	サトザクラ類・ウメ	７月３日	トモノールS	100倍	400Ｌ／150本	直営
	サトザクラ類	７月13日	スプラサイド乳剤	1,000倍	50Ｌ／20本	業者委託
	サトザクラ類・ウメ	９月７日	スプラサイド乳剤	1,000倍	200Ｌ／150本	業者委託
			アプロード水和剤	1,000倍		
			アプローチＢＩ	10,000倍		
	サトザクラ類	９月17日	スプラサイド乳剤	1,000倍	50Ｌ／20本	業者委託
			アプローチＢＩ	10,000倍		
ツゲノメイガ	クサツゲ	６月16日	オルトラン水和剤	1,000倍	10Ｌ／10㎡	業者委託
			スプラサイド乳剤	1,000倍		
ハダニ類	アジサイ	７月10日	ケルセン乳剤	1,500倍	50Ｌ／40本	業者委託

ΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨΨ

園内気象記録

平成13年１月１日～12月31日

月　別	気　温（℃）				降　水　量 (mm)
	平均最高	平均最低	月　最　高	月　最　低	
１月	7.6	0.0	13.5	-5.6	116
２月	9.9	1.0	16.8	-3.3	91
３月	(13.8)	(3.0)	(21.1)	(-3.3)	58
４月	19.7	8.6	26.8	-0.5	25
５月	(23.9)	(13.8)	(28.1)	(8.8)	192
６月	(26.1)	(18.2)	(31.0)	(13.3)	374
７月	(31.3)	(23.1)	(35.2)	(20.2)	171
８月	(32.2)	(23.1)	(36.8)	(18.5)	97
９月	28.3	18.6	32.9	11.2	234
10月	23.2	13.5	27.8	7.7	293
11月	(16.1)	(5.9)	(21.6)	(2.4)	69
12月	(11.0)	(1.5)	(15.9)	(-2.0)	56
合　計					1776

（参考）
最高気温記録日（８月５日　36.8℃）
（広島地方気象台では最高気温記録日は８月５日で37.9℃であった）
最低気温記録日　１月15日　-5.6℃
最大雨量記録日　10月28日　105mm

※（　）内の記録は、広島地方気象台が観測した［広島］の値から補正式（栽培記録第20号）によって推定した値、その他は本園現場事務所横に設置した自記温度（二段記入型、バイメタル・毛髪式、太田計器製作所製）および自記雨量計（隔測顛倒ます型、太田計器製作所）により観測した値である。

（井上尚子・松本広樹・豊永哲夫記）